

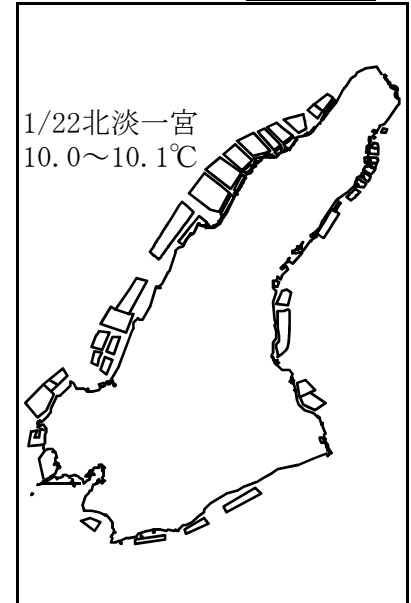
兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 11号)

平成30年 1月26日発行
兵庫のり研究所

播磨灘に面する漁場では、栄養塩を消費する植物プランクトンはほとんど確認されず、窒素は概ね $5 \mu\text{g at} / \text{L}$ 前後の値でした。一方、淡路東浦海域においては小型珪藻のスケルトネマがやや多く確認され、窒素は $3 \sim 4 \mu\text{g at} / \text{L}$ と前回 (1/16) 調査と比較し減少しています。

(珪藻) 淡路西浦および南浦海域では珪藻はほとんど見られず、窒素は $4 \sim 5 \mu\text{g at} / \text{L}$ と平年より高い値で推移している。一方、大阪湾では湾奥から大阪府沿岸域を中心にスケルトネマが大量発生している。今回調査の東浦南部海域のサンプルにおいても、海水1mlあたり500~800細胞とやや多く見られており窒素・リンともに前回調査より低い値であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	6.3	3.6	4.9	5.2
	リン	0.53	0.34	0.46	0.48
西浦地先	窒素	5.2	5.0	3.5	2.4
	リン	0.54	0.58	0.46	0.41
南浦地先	窒素	5.7	5.1	4.0	3.2
	リン	0.58	0.58	0.47	0.48

(1/16)

(1/27)

栄養塩 (窒素) 図

平成30年 1月26日調査

